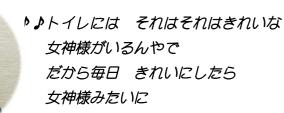
「トイレの神様」?「道徳の神様」!

名古屋道德教育研究会副会長 城西小学校長 安田 降



べっぴんさんに なれるんやで♪♪

昨年話題になった曲で、ご存じの方も多いと 思います。「トイレをぴかぴかに磨くとべっぴ んさんになる」という主旨なのですが、道徳の 授業に喩えてみました。

~道徳の授業を毎週一生懸命したら、 それはそれはいい先生になる~

それはなぜかというと、子どもたちの考えが 分かる先生になるからです。

毎週授業をしていると、一つの問題場面にお けるその子どもの判断傾向が次第に分かってく るものです。「損得で物事を考える」「人の考え に左右される | 「自己中心的に考える | など様々 です。こうした考えの傾向を把握して、 「今の 自分はどうであるのか、どういう考えを大切に していくのか/と気付かせていくことが道徳の 授業では一番大切なことであると思います。

新学習指導要領の「道徳の時間の目標」にも、 「価値の主体的自覚及び自己の生き方について **の考えを深める**」とあり、_____の部分が付け 加わっています。そして、解説の道徳編では、 ~~~~を強く意識して指導していくことが重要 であると述べられています。

このように、道徳の授業では、子どもたちの **「今や将来の生き方」**について考えを深めるこ とができるように取り組んでいくことが、今一 番大切なことなのです。 (次の歌を信じて、授 業を頑張りましょう!)

♪♪ 道徳には それはそれはきれいな 女神様がいるんやで だから毎週 一生懸命授業したら 女神様みたいに いい先生になれるんやで ♪♪

名道研だより 第27号

平成23年2月28日 名古屋道徳教育研究会

名古屋市道徳研究会研究発表会 1月26日(水)

運営する 山西 記述 研究テーマ「基本を学び合おう! 道徳の授業づくり」

部会で話し合われた道徳の授業についての様々な悩みの中から「**資料理解のポイント**」 「道徳の時間が国語の『読み取り』にならない工夫」「建て前と本音」について、話し合 われた様子を模擬授業風に演じたり、解説を交えたりした発表がありました。

子どもの発言が「読み取り」に なってしまいます。



発問する時、資料に記述してあることは、教師が 初めから話してしまいます。例えば、

「主人公は、最後には○○と考えたから、△△がで きたんだよね。では、そう考えるまでにいろいろと 迷ったと思うけど、どんなことで迷ったのかな。」と 発問すれば、子ども自身の経験を基にした、心情や 判断など、多様な発言が期待できます。

子どもたちに「いのち」の大切さを学ばせていくために、いのちの大切さを**五つの視点**



各教科等の学習や体験活動と、道徳の時間とを意図的に関連させた「関連プログラム」 を構成したことで、道徳の時間に各教科等の学習や体験活動での共通した体験を基に話し 合いを行うことができました。そして、子どもたちが「いのち」の大切さについて多面的 な見方をもつことができるようになりました。

(「五つの視点」「関連プログラム」の詳細は「道徳 会報 No.6 『心輝け 子どもたち!』」をご覧下さい)

※ 発表会参加者に配布させていただいた、「関連プログラム」や「指導案」を収録した名古屋市 道徳研究会作成の「CD-ROM」ですが、まだ、若干の在庫があります! 必要な方は下記まで! テーマ研究部会部長 野立小 堀 達司

指導·助言

名古屋市教育委員会 指導室指導主事 佐藤 佳子先生



授業づくリ研究部 会の実践と発表は、 「道徳の特質をふま え、授業づくりの基 本を学び合おう」と

いう、思いが表れていました。

一方、テーマ研究部会では、「いの ち | についての五つの視点でのとら えは、よく考えられていて、実践に 生かされていました。また、本日発 表の「関連プログラム」は、新しい 学習指導要領にある、今日的課題を 追究しているものでした。

だれかから受けた恩を直接その人 に返すのではなく、別の人に送る。 その人がまた別の人に送る。このよ うに、恩がぐるぐると世の中を回る ことを作家の井上ひさしさんは、「恩 送り」と言い表しています。

本日の発表の中に、子どもたちが 他の多くの生き物の「いのち」に支 えられていることに気付き感謝し、 また、自分たちが自然や他の生き物 の「いのち」を支えていくという関 連プログラムがありました。

「思い」の順送り、循環という点 で、先ほどの「恩送り」に通ずるも のを感じました。

参加者の声

道徳の授業を行っていく中での問題 点や不安な点について、多くの改善案 を教えていただくことができました。



「いのち」の視点 以外の「関連プログ ラム」の紹介をして ほしい。

「関連プログラム」について、道徳 の時間を要として、各教科等の学習と の関連を図っていくことの大切さと有 効性を学ぶことができました。